

TTC事務局員の紹介

担当部長（標準化 兼 業際イノベーション本部） こしみず たかし
奥水 敬

2019年4月より前任者の担当を引き継ぎまして、3GPP専門委員会、移動通信網マネジメント専門委員会及びoneM2M専門委員会を担当させて頂く事となりました。不慣れではございますが、宜しくお願い致します。

私はこれまで3GPPを中心としたコアネットワークの国際標準化をNTTドコモにて推進してまいりました。移動網の世代としては3Gから始まり、LTEそして2020年には日本においてもサービスリリースが予定されております5Gにかかわる標準化を担当させて頂いておりました。TTCにおきましてはこれらの活動を統括する3GPP専門委員会に大変お世話になりました。私自身、限られた期間でございまして上記委員会委員長及び副委員長等も担当させて頂き非常に良い経験となりました。今後は運営側と立ち位置は変わりますが、これまでの経験及び引き続き皆様からのご協力の元、関係委員会の活動を支援させて頂く事となりますので、是非ご指導宜しくお願い致します。

現在のTTCは、単なる地域標準化仕様の作成の立場から、業際イノベーション創出に関する活動も推進しており、ICT分野の活性化のための多角的なイノベーションに関する動向調査、課題の発掘や戦略の検討等へも活動を広げております。今後は広く関連委員会の方々とも議論をしつつ、更に関連分野の知識及び見聞を広め通信業界の新サービスやユースケース創出に向けての寄与も進めて行きたいと存じますので、引き続き広くご支援宜しくお願い致します。



担当部長（標準化担当） たけうち まきの
竹内 正憲

2019年4月より、セキュリティ専門委員会とIoTエリアネットワーク専門委員会を担当しております。

これまでのキャリアは、製品開発が主体で、開発した主な製品は、①電子辞書、②光磁気ディスクドライブ、③テレビ用プラズマディスプレイパネル、④通信端末（ホームゲートウェイ、スマートメータ等のIoT関連機器）と幅広いです。各製品とも、開発時の苦労は多かったのですが、初号機が出荷されたときのうれしさは格別でした。特に思い出深いのは以下の2つです。一つ目は、②光磁気ディスクドライブの制御ファームウェア開発です。

当時OSに凝っていたので、ファーム開発では自分で作ったリアルタイムOSを実装して全ファームを動かしたことです。まだMS-DOS全盛の頃で、リアルタイムOSはアセンブラとC言語で作りました。二つ目は、③テレビ用プラズマディスプレイパネルです。プラズマパネルは当初、動画像を映すと顔部分に色ノイズが見えるという問題があり、その対策に大変苦労しました。これはパネルの発光特性と目の残光感度に起因する現象です。このノイズを低減するために動画シミュレータや高速度カメラを使用した実験により、色ノイズ低減方式を開発したことです。この技術を盛り込んだ画像処理回路をFPGAで試作し、最終的には、ASICを新たに設計し直してパネルに実装しました。この開発で、人間の目の働きの奥深さには感心させられました。

標準化活動は、これから学びながら進めていくこととなりますが、今までの幅広い製品開発で培ってきた技術的素養をもとに、皆様とともに歩んでいきたいと思っております。

